

創立 1986 年

2021～2022年度クラブ目標

『新たな奉仕に踏み出そう
ロータリーの次の百年のために』

会長 鈴木 孝 幸
幹事 須藤 正 樹



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～22年度国際ロータリーテーマ

第1694回例会

令和4年1月6日(12:30～13:30)



- ソング ●国歌(君が代) ●奉仕の理想
○スマイルBOX

- 鈴木孝幸会長(新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。目新しいタスキ、恥ずかしくもちょっとうれいします。)
- 須藤正樹幹事(新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。皆様に迷惑をかけないよう頑張ります。誕生日記念品ありがとうございます。)
- 永野文雄会員(新年おめでとうございます。本年も西クラブを楽しみましょう。)
- 片倉義文会員(あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。“コロナ感染第六波”気を付けましょう。)
- 前原俊治会員(新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。1月3日は結婚記念日です。(まだ届いていませんが)お祝いの花有難うございます。)
- 金田昇会員(あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。)
- 居川孝男会員(新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。本日は免許更新があり中座いたします。鈴木会長・須藤幹事あと半年宜しくお願いします。)
- 村上堅二会員(明けましておめでとうございます。今年が良い年に成りますように。)
- 池田浩章会員(新年あけましておめでとうございます。鈴木会長・須藤幹事あと半年頑張ってください。)
- 運天直人会員(皆様、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。昨日ゴルフ愛好会初打ちコンペにて会長賞を頂きました。スコアは全然ダメですがハッパに恵まれ3位でしたのでスマイルします。)
- 富永章会員(新年おめでとうございます。御座います。今年もよろしくお願い致します。)
- 佐藤清作会員(新年おめでとうございます。今年もよろしく。)
- 堀田一彦会員(新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。)
- 関谷亮一会員(皆様あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願い申し上げます。)
- 宮本多可夫会員(鈴木会長・須藤幹事、あと半年間お世話になります。)
- 湊洋子会員(新年明けましておめでとうございます。誕生日プレゼントありがとうございます。)
- 齋藤孝弘会員(あけましておめでとうございます。鈴木会長・須藤幹事あと半年ですね。残念です。)
- 仁平喜代治会員(新年明けましておめでとうございます。本日結婚記念品を頂きありがとうございます。)
- 成井正之会員(明けましておめでとうございます。西RCの皆様が健康で楽しい一年に成ります様、ご祈念致します。)

▶第1694回例会出席状況 (R4年1月6日)

① 出席免除を受けていない正会員数	50名
② 出席免除の適用正会員数	14名
③ 全正会員数	64名
④ ①の出席者数	28名
⑤ ①のメイクアップ者数	0名
⑥ ②の出席者数	12名
⑦ = ④ + ⑤ + ⑥ (メイクアップ補填後の出席会員数)	40名
⑧ = ③ - (② - ⑥)	62
⑨ = ⑦ / ⑧ × 100 (例会出席率)	62.5%

▶例会日:第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場:白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局:〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5(白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

鈴木孝幸会長



皆さん、明けましておめでとうございます。今年も活発なロータリー活動をよろしくお願いしたいと思います。今日は会長幹事、新しいこの襷を付けてちょっと恥ずかしいですが、ちょっと締めがあるということで金田ガバナー補佐の押しでございますから、私喜んで付けさせていただきますと思います。今日も年始の忙しい中、皆さんこの例会にお集まりいただきまして大変ありがとうございます。皆さん、お正月はいかがお過ごしだったでしょうか。私は家内と息子と犬で、長野県のほうにお正月に行きまして新年を迎えさせていただきました。高速道路での移動でしたが途中のサービスエリアも、あと帰りの立ち寄ったショッピングモールもお客さんがもうブラウン運動のように、ぶつからないようにするのが大変なぐらいに人が出ていました。コロナも落ち着いてきた状況でしたから、かなりの人がやっぱり動き出したんだと思います。人が動いてコロナが心配というより、実は私は逆に嬉しく感じました。束の間でも、社会が日常を取り戻して私も遠慮なく外出させていただきましたし、みんなが本当にこうやって日常を取り戻している現実を目の当たりにして、非常に嬉しいお正月でありました。今年は2022年寅年、なんか壬寅というのが正式の名前のようで、干支的にいうと昭和37年の私の二つ上の人の干支ですね。ちなみに、私の兄は壬寅でございます。壬寅というのはどんな年になるのかというのをちょっと気になって調べてみました。こう書いてありましたね。「陽気を孕み、春の胎動を助く」という言葉が出てきました。これはどういう意味かと言いますと、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるということらしいです。なるほど今年は年末、白河も雪も多くて、今日の朝なんかも冷え込みで西郷なんかもマイナス5度だったり、これからかなり厳しい冬の予感がいたしますが、これは壬寅の意味と重ね合わせて解釈いたしますと、この厳しい冬は華々しい春の芽吹きの前触れであるということにも取れるので、皆さん今年は華々しい素晴らしい一年になることと期待いたしましょう。ちなみに、かの徳川家康も壬寅らしいです。話は変わりますが新年心配なのは今朝の新聞でのオミクロン株ですね。沖縄の蔓延防止が明日から適用されるということですし、国内の新規感染者は5日時点で2400人確認されているようであります。いくら重症化リスクが低いといえども、重症化する人は中にはいますので、感染を野放しにはできないと思います。白河市も今朝の新聞で3回目の接種を早めると言っておりますし、これからまたいろいろコロナに対する縛りが出てきそうだと感じています。本当に残念であります。今後のロータリー事業に影響

がないことを切に祈っております。では今日、この後私もう一回喋るということで、会長の時間はこれで終わります。今年もよろしくお願いいたします。

■幹事報告

須藤正樹幹事

- 国際ロータリー日本事務局：日本事務局「年末年始休業」と「在宅勤務継続」のお知らせ
- 国際ロータリー日本事務局：RI日本事務局財団NEWS1月号
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 志賀利彦、職業奉仕委員会 委員長 初瀬照夫：「第2回職業奉仕委員会セミナー」開催について
- 国際ロータリー日本事務局業務推進・IT室：職業奉仕月間リソースのご案内
- 公法) 白河青年会議所 第64代理事長 小磯祥晃：公益社団法人白河青年会議所2022年度新年式典開催のご案内
- 和光：和光ロータリークラブカタログ
- 白河ユネスコ事務局：令和3年度だるま市街頭募金の中止について（通知）
- ガバナーエレクト 佐藤正道、次期地区幹事予定者 佐藤日出夫：国際ロータリー第2530地区各クラブ2022-23年度会長・幹事・事務局報告および地区名簿作成のお願い

■米山功労者の表彰

○米山功労者

第2回マルチプル
金田昇殿



○米山功労者

第1回 池田浩章殿



○米山功労者 第1回 鈴木孝幸殿



■年頭の挨拶

○2021-2022年度県南分区ガバナー補佐 金田昇様



皆さん、明けましておめでとうございます。役職ですので、一言ご挨拶申し上げます。昨年は、慣れないガバナー補佐の職務に対しまして、クラブの会員皆様のご支援

をいただきまして、滞りなく半年過ぎることができました。ありがとうございました。今年は、残りの半期をしっかり西クラブのメンバーらしく、ガバナー補佐の職務務めてまいりたいと思いますが、いずれにせよコロナ禍ということがまだ続いておりますので、残す事業、IMだったり、クラブ訪問、分区の親睦ゴルフコンペ等々に関しまして、注意深くまたクラブ会員皆様のご協力をいただきながら過ごしてまいりたいと思いますので、ご支援の程をよろしくお願い申し上げます。簡単ではございますが、年頭の挨拶とします。今年もよろしくお願いいたします。

■委員会報告

○親睦委員会

・結婚記念日

仁平喜代治会員、佐藤清作会員

前原俊治会員

・誕生日

片倉義文会員、湊洋子会員

諸橋和典会員、須藤正樹会員

永山龍太郎会員、瀬谷隆志会員

鶴丸彰紀委員長



○IM実行委員会事務局

堀田一彦会員



皆さん、明けましておめでとうございます。IM実行委員会の事務局の堀田です。IM実行委員会からのお知らせとしまして、来週の例会のプログラムがIM実行委員会の全体会議となっております。各委員会ごとに現在の進捗状況などを発表していただくようになりますので、よろしくお願いいたします。また、第3回のIM実行委員会が1月20日木曜日、18時30分から、ここ「東京第一ホテル新白河」の3階で行われる予定となっております。これに関しては、また正式な案内文を送りますので、どうぞ出席のほうよろしくお願いいたします。

○雑誌広報委員会

大竹憂子委員長



雑誌広報委員会の大竹です。1月号の「ロータリーの友」の紹介をさせていただきます。まず初めに横組みの4～5ページ、RI会長メッセージが載っていますので、是非ご覧になってください。続きまして、横組みの7～13ページ、「コロナ禍における私の職業奉仕」というこ

とで、8～9ページが外国籍住民家庭の支援のことが載っていきまして、意外にも外国人の家庭というのが多いというのが改めてここを見てわかりました。また、次の10～11ページに関してですと、外国人留学生についてなんですけども、やはりこのコロナ禍で学生たちも大変だということで、国内の学生ももちろん大変ですが、知らない慣れない土地で留学生としてやってきている外国人の方がもっと大変だということで、その支援の内容が載っております。また12～13ページ、これは犬猫の譲渡活動ということで、長年されてたようなんですけども、これもやはりコロナ禍で影響あるのかと思いましたが、内容見てみますとコロナ禍での影響は特にないようなことが書いてありました。ただ、やはりなかなか保護されるペットが今だ多くてという流れが書いてありますのでご覧になっていただければと思います。続きまして、横組みの18～19ページ、「茨城発！世界に広がるロータリー奉仕デー」ということで、詳細が載っておりますので、そちらもご覧いただければと思います。20～21ページなんですけども、「男子、生理用品を買う」ということで、最近、生理貧困ということが騒がれております。そういう時代ですので、ちょっと私はこのことに対していろいろと興味があったので思わずじっくりと見てしまったんですけども。その中でもやはり皆さん、ここにいらっしゃる男性の方々ももしかすると生理用品なんて買ったことないんじゃないかなと思いますので、ちょっと興味を持って見ていただけたら嬉しいと思います。その21ページの下の方に、男女共生センターへの生理用品を支援したということで、第2530地区のほうの内容が載っております。若い方、学生なんかも特にやっぱり今、生理貧困ということで困ってる方がいらっしゃるの、そういった支援も大事だなと思って見させていただきました。続きまして、縦組みのほうに入ります。縦組みのほうは4～8ページ、「時代に考える職業奉仕」ということで書かれていて、江戸時代と比較した話が載っていますので、ちょっと面白いかなと思いました。次の縦組み9～12ページ、こちらのほうで「この人訪ねて」ということで、とんかつと坂本龍馬を結ぶという、やはりこちらも歴史に関わったような内容になっていきまして、両方とも歴史と深い中身になってますので、ご覧いただければと思います。横組みの22～23ページですが、こちらにカンボジアの状況を書かれているので、これもまた面白いかなと思いますので、是非ご覧になっていただきたいと思います。以上で、雑誌広報委員会から報告を終わります。

○須藤正樹幹事



入会者の申し込みが来ておりまして、これを皆さんにお伝えして掲示板の前に掲げてなくちゃならないものを、お伝えしないで掲げたままにしておりました。すみませ

ん。これ、12月はずっと飾ってたんですけど、入会が決定しております。名前は沼田重一様。「高田産商株式会社」の代表取締役社長であらせませう。本人が来た時にもう一度紹介をしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

■本日のプログラム

会長年頭卓話

○鈴木孝幸会長



皆さん、改めましてこんにちは。お正月の間中、いろいろ何を喋ろうかなと迷って、やっぱりそういう時には過去の週報を見直すというのが結構参考になりまして、割と難しいお話をする大先輩方もおりますが、自分の趣味の話をするパスト会長もいましたので、今日は今年度、白河西ロータリークラブでバイク愛好会ができたということで、私の趣味でありますバイクについて話させていただいて、いろいろバイクというとかましかったり、変なちんどん屋みたいなバイク乗ってる人がいたり、偏見も多いということから、私がバイクの魅力についてお話させていただいて、バイクの良さを知っていただいて、しいてはバイク愛好会に理解を深めてもらえようかなと思ひまして、こういった発表をさせていただきます。私の趣味はオートバイ。乗って良し、いじって良し。旅して良し。まるで近江商人の三方よしみたいな感じなんですけども。オートバイの趣味と実益を兼ねる最高の相棒ですということで、初めに私の感想というか思いを言わせていただきます。そもそも、私がバイクに出会うきっかけというのは、週れば1980年代、16歳17歳18歳ですね。その頃、空前絶後のバイクブームが起っておりまして。高校1年の時ですかね。友人が私の家にバイクで遊びに来まして、カワサキのZ400FXというバイクなんですけども、ちょっとそちらでもう衝撃を受けまして、絶対バイク乗ってやるという感じで、免許も取らずに別の友人からバイクを借りたりして何回か無免許で乗ってた、やっぱりやらかしたんですね。転倒して私は左腕に十数針のまだ縫い傷が残っています。ということで、親にも迷惑をかけたということで、高校時代は免許を取らずに18歳まで我慢して過ごしたわけがあります。18歳で車の免許と同時に、貯めておいた小遣いで中型免許ですね。400ccまで乗れる免許を取得いたしました。本当に凄く嬉しくて、早くバイクを買いたい。大学時代はすぐバイトをして私の友人からオートバイを安く譲ってもらって、毎日勉強よりもオートバイに明け暮れる毎日でありました。箱根とか丹沢とかコウズ峠、大垂水などですね、本当に関東界隈の峠を日々走り回っていました。多分、その頃ローリング族なんて言われてたと思いますので、社会に相当迷惑をかけていたんだなと思って、今反省しております。これも昔のそうですね、18歳、19歳くらいの写真ですが、こんな感じで峠

を走ったり、いわゆる風になっていたというやつですかね。こんな感じで過ごしていました。あと21歳で、神奈川の二俣川試験場で限定解除。大型バイクに乗るためには、その400cc限定というものを解除しなきゃいけない。あの時代は限定解除と呼んでたんですけども、それに挑戦してなんと5回で合格してます。実は二俣川というのは日本国中きっての難関で、30回受けても受からない人は受からない。私が受けた時は、ちなみに200人受験して何と2人しか受かりませんでした。私ともう一人だけ。もう本当、一級建築士を取った時よりこちらの時のほうが物凄く気分が良かったと、晴れて大型バイク、ナナハンライダーになったということですね。それからバイク熱は今まで全然衰えを知らず、ここにちょっと赤文字で見えにくいですがホンダVT250Fから始めて、もう本当に20台以上乗り継いでおります。それでも何台か残してるものもありますが、大体お金がないので買っては売り買っては売りの繰り返しでした。ちよっともったいないことをしました。中でも売る時には5万位で売ったバイクが今、もう値段が上がって150万以上になっているバイクもあります。これがその載ってきたバイクの写真があるのだけですけど、こんな感じで乗ってます。右下の赤と白のオートバイは、最近によく一番足にして乗ってるドカティのマルチストラダ1200というオートバイですね。学生時代、若い時に峠をいろいろ走ったんですけども、やはり実を言うと何回も転んだ危ない思いをしています。といった事から、やっぱり安全に走るにはサーキットしかないということで、サーキット走行、練習走行するわけですね。そうするとやっぱりちょっと段々楽しくなってきた、仲間とレースにも参加するようになりました。これがサーキット走ってる、これ練習走行の時の写真ですけども、こんなふうな感じで安全に公道を走るより安全にサーキットを走ってるという方向で練習をしてくわけですね。これもライディングパーティーという雑誌の主催のプロカメラマンに撮ってもらった写真ですね。もう走りはへなちょこですけども、写真が上手いとか早く見えるなど感心するところがあります。この写真が「ツインリンクもてぎ」というのが栃木にあるんですけど、そこでMotoGPという世界最高峰のオートバイレースが執り行われるコースもフルコースを使って7時間も耐久レース。100ccのミニバイクですね。小さいバイクで。そのバイクでの耐久レース、今まで仲間と2回出場してるんですけど、エンジョイクラスというちょっと下のクラスですね。1回目が7位で、2回目は優勝してます。ちょっとこの写真に載っている右側2人がちょっとかなりとてつもなく早い人間で、こいつに引張ってもらったという感じですね。これがちょっと唯一の自慢であります。バイクは乗るだけじゃなくて、飛ばすだけじゃなくて、いじっても非常に楽しいです。車はやっぱり手に負えないところもありますが、バイクというのはコツコツと物は小さいですから、

自分でできる場所はなるべく自分でお金をかけずに整備するというのは楽しいですね。小さいバイクから大きいバイクまで、右側の黄色いタンクもバイクはこれ50ccのバイクをいじったり、こちら左側のやつは1200のバイクをいじったりですね。こういった感じで楽しんでいきます。実は私、一番好きなのはロングツーリング大好きです。一日300キロとか走っても全然走った気にならず、本当に北は北海道から南は九州まで、沖縄はスクーターを借りて走りました。中目さんを後ろに乗せて走って、雨に降られたこともあるので、ほぼほぼ全部走ったことあるんですけども。時には、一日1000キロ、高速はかなり使いますが走る時もあります。バイクというのは渋滞になっても、安全に確保しながらすり抜けということがので、非常に距離を延ばせる機動力のある乗り物だと思っています。ロングツーリングするには、毎回テーマとか目標を決めてツーリングしています。今回、紹介させていただくのはまず一つ目は三陸復興ツーリングといいまして、震災後三陸のほうはかなりやられていましたので、その復興を応援する見届けるというために、今まで数回開催しています。白河からずっと北上してって、これ石巻の大川小学校、去年ですね。去年、震災遺構になりまして公開されている小学校ですね。本当に悲しい現実で、子供たちが74名。職員の方が10名、津波にのみ込まれて亡くなられたということで、それにちょっと是非献花して手を合わせてこようということまでここにきました。この中身ですね。この裏山の土手なんですけども、ここまで津波が来たと赤い字で書いてある所まで津波が来ました。その上に平場があってそこに人が3人くらい見えるんですけども、早い決断でこの上まで逃げていれなくす命もなかったんだろうというふうなことで、非常に残念な思いを抱いて帰ってきた次第です。気持ちを切り替えて、もうちょっと北上してこれは復興で作った南三陸さんさん商店街という所ですね。これ隈研吾さんが設計したりしてるんです。なかなか見たえのある小さくても木造の建物でした。南三陸というと、やはりウニですよ。南三陸キラキラウニに井という夏場にブランド化して出している、本当にこの粒一つ一つが本当この親指くらいの大きさの本当素晴らしいウニ。これを食べたいが為に行ったといっても過言ではありません。こんなふうに皆で行って食べてまいりました。何故かライダーはソフトクリームとかアイスが好きなんです。何ででしょうかね、集中してて甘いのが欲しくなるのかわかりませんが、大体のライダーはツーリング途中でアイスを食べたりします。三陸ウニアイスみたいなのがあったので、ちょっと食べてみましたがちょっとこれはあんまりいけない感じでした。それでまた今度、三陸を北上して気仙沼まで上がるんですね。そこに東日本大震災の遺構伝承館というのがありまして、宮城県気仙沼向洋高等学校という所の脇に建てて、その向洋高等学校がかなりの被害が出たので、そちらを見学するための伝

承館となっています。学校の中、このような形で震災直後のまま保存されていますね。本当に心打たれる感じがあります。この右側の低い建物は、実はこれは体育館でこの上に鉄骨の上屋が建っていたんですね。それがもう軒並み流されて、こんな形になっている。こういったものも見てくることができました。これ中身をこうやってじっくりと歩いて見るができます。更に今度、陸前高田まで上がるんです。オートバイ早いですから、すすいと上がります。「いわてTUNAMIメモリアル」というので、こちらも非常に話題になった建物。こちらにも行って手を合わせてきました。みんなで行って生きている喜びをかみしめようと言って手を合わせてきました。これは海沿いのほうからこの津波伝承館のほうのメモリアル伝承館のほうを見た風景ですね。それから、今度北上してあと一つ回った所あるんですがそれちょっと省略しますが、その後盛岡のビジネスホテルへ到着します。やっぱり、乗った後は宴会ということですね。岩手県に皆さんご存知でしょうか。遠野市というのがあって、そこは実はバケツジンギスカンがすごい有名なんですね。ただ、それは遠野市なんですけどその支店で盛岡市内に「遠野屋」というジンギスカンで有名なお店があって、そこで今回は宴会をやりました。もう結構飲んで、こんなふうな感じのジンギスカンがやっぱり出て、ビールも大変進みます。そうすると、やっぱり酔っぱらってこんなふうに盛り上がってくるわけでありまして。そんな感じで一晩過ぎまして、また別なツーリングを紹介いたします。これは伊弉諾神宮を訪ねるツーリング。皆さん、伊弉諾神宮というのはご存じでしょうか。日本最古の神社というように神社は言っています。日本最古と謳う神社は他にもあるので、一応日本最古の神社の一つとされるということにしておりますが、淡路島にあるんですね。淡路島はイザナギノミコトとイザナミノミコトと一緒に匙でこうやって海をかき混ぜて、その雫が落ちた所がおのころ島。そして、淡路島になるというふうな伝説がある日本最古の日本で一番初めに出来た島と言われてる所ですね。そこに行って、帰りはゆかりのある神社を巡ります。ゆかりのあるというのは、この後の写真を見るとわかるんですけども、こちらが伊弉諾神宮をお参りしまして、トウハツカンシャなんてものがあつたりして、そこにちょっと感謝をしてですね。これが伊弉諾神宮を中心とした太陽の運行圏というふうな形で、アップにするとこんな感じですね。実はこの伊弉諾神宮を東西の線を引いて、夏至のライン冬至のラインを引くと、なんとそのライン上に諏訪大社があつたり、伊勢神宮の内宮があつたり、那智大社があつたり、出雲大社があつたりですね、様々な著名な神社があるという本当に不思議な位置関係になっています。こうなりますとやっぱり、諏訪大社にも行きたいですし、伊勢神宮にも行きたいですし、那智大社にも行きたいということで、今回は諏訪大社と伊勢神宮の内宮と外宮を帰りに回ってくるわけで

す。先程説明しました我が国最古の神社という、神社の立て看板にも記載されています。それを見た後に今度、宿に戻ってやっぱりその地域の食を頼む。淡路島というと、やっぱり明石鯛。明石海峡大橋のある、あの明石ですね。あそこ海流が非常に激しくて、そこだと非常に美味しい鯛が育つということで、明石鯛の明石鯛づくしという形で、この船盛りは明石鯛の刺身。他のものも乗っかってますけども、こんな感じで出してもらいました。こんな立派なものですね。もう行った人間、みんな舞い上がってます。これはやっぱり明石鯛の宝楽焼きと言いましたかね。左手のアルミホイルの、これがまた美味しいですね。右側のものは明石鯛をメインとした鍋ですね。こういったものを食しておとなしく次の日に備える。また、こうやって準備をして出発するわけですね。これは伊勢神宮に着いたところです。距離的にはそうですね、何キロですかね。伊勢神宮まで300、400くらいですかね。走って伊勢神宮に着きまして参拝をして、おかげ横丁に立ち寄り、これは今年の11月に行ったんですけども、その時点でこのぐらいの人がもう出ています。今度、帰ってくるんですけども、これは今夜は伊勢神宮の外宮の近くに泊まったので、夜こうやってくり出しまして、また地元の美味しい酒屋さんを、これ昼間のネットから撮った写真ですけども、これはもう有名な「一月屋」という居酒屋さんに行って、こういうような感じで食を楽しむわけです。そうすると、酔っぱらってこんな誰もいないアーケードで踊ったり、こんな感じになるんですね。二次会場も自分がその場で探して、いい店を探して伊勢うどんを食べて。伊勢うどんというのは皆さんご存知かと、ぐちゃぐちゃに混ぜてから食べるんですね。非常に美味しいものでした。翌日、本当に凄い大雨になりました。雨の中、また厚木に出発して目的地ですね。厚木の友人と合流して、途中浜松で新しい餃子なんていう。浜松で今、餃子を結構名物として売り出してるらしくて、そちらでちょっと高速の中で餃子を食べて、それから厚木のホルモン屋さんに行ってこんな感じでまた過ごす。翌日はまた今度、諏訪大社に向かってお参りをして、名物のおやきを食べて、ちょっと口がほうばったまんまの口になってますけども、今回のツーリングは、伊弉諾神宮と関連のある伊勢神宮ですね。あとは諏訪大社を回って、三泊四日で走行距離が2100キロをですね、本当にバイクじゃないと走れないのかななんて思いますね。最後は日帰りの黒部ダムツーリングというのも行ってきました。日帰りで黒部ダムも行けます。これは朝、集合しましてこの時は10台くらい集まって、途中のサービスエリアで休みながら、途中初めに善光寺をお参りして旅の安全を祈願した。下のほうに矢田部さんがちょっと写ってますが、こんなふうな感じで記念写真を撮って、サービスエリアの駐車場でちょっと休んでですね、扇沢駅ですね。こちらから行くと、黒部ダムの扇沢駅から電気で走るバスに乗り換えて向かいます。こんな感じですね。こ

れが左側に見えるのがバスで、真ん中がバイク愛好会の会長の矢田部さんですね。これはこちらの黒部ダムに行く時にこの電気のバスに乗って行くと破碎帯、「黒部の太陽」で映画になった、話題の難所の破碎帯が見られるんですね。一瞬ですけど通過します。その破碎帯の名前を文字って、この「ハサイダー」なんていうのも販売してるので、思わず買ってみんなで飲みました。これは黒部ダムの全景ですね。左の写真の下のほう、ちょっと注目していただきたいんですけども、人が本当に豆粒のように見えます。これだけ皆さんも行ったことある人はご存じでしょうが、本当に巨大なダムですね。こんなふう

に皆で写真を撮ってですね。行ってまいりました。あと最後ですけども、こんなふう

に他の大きいバイクじゃなくて小さい、皆さんスーパーカブってご存じだと思いますが、今スーパーカブ系のバイクがすごい大人気であります。私もこのハンターカブというスーパーカブを1台持っていて、そちらに荷物を満載してキャンプツーリングなんかも行ったりします。これそのキャンプツーリングのワンシーンですね。南会津に行った時に「国権」という酒造会社。南会津の「国権」ですね。ちょっとそこに寄って酒を調達して、キャンプ場に向かったというツーリングでありました。この写真はまた別なんですけども、このカブ系のバイクで山を林道ツーリングですね。本当に小さい軽いバイクですから、本当に気軽に林道に入っていけるという感じで楽しく。真ん中に見覚えのある人が立っていると思いますが、わかりますでしょうか。これですね。実は、職業奉仕委員長がこういうように一緒に参加してたりするんですね。こんな感じで、非常に大きいバイクでも小さいバイクでもオートバイというのは、本当に非常に楽しく遊ぶことができる、楽しむことができる。いかがでしょうかということで、バイクの楽しみ方を本当にちょっとだけでも報告させていただきました。ご興味のある方は、私ないしは矢田部 錦四郎バイク愛好会会長、ないしは金田昇ガバナー補佐。もう本当にバイクに非常に詳しい重鎮です。あとは、佐藤幸彦デグジネートまでご相談いただければ、いろいろとお話を聞かせてみたいと思っています。本当に新しい、人生の新しい扉が開くと思いますので、皆さん興味を持ってください。ちょっとつたない話でしたが、私の卓話といたします。どうもありがとうございました。

▼白河西RC新春初打ちゴルフコンペ 〈1月4日(火) 那須黒羽ゴルフクラブ〉

優 勝：車田裕介	第7位：堀田一彦
準優勝：前原俊治	第8位：須藤正樹
第3位：運天直人	第9位：居川孝男
第4位：鈴木孝幸	第10位：成井正之
第5位：安部和夫	第11位：永野文雄
第6位：宮本多可夫	